

## TOVS 術後癒痕拘縮予防に対するステロイド治療に関する研究

### 1. 研究の対象

平成 30 年 9 月 30 日までに、当院で経口的咽喉頭部分切除術（TOVS）を受けた患者で、術後癒痕拘縮予防にステロイド治療を行った方を対象とします。

### 2. 研究目的・方法

当施設では咽喉頭癌に対する頸部外切開による咽喉頭部分切除にかわる外科的治療法として経口的咽喉頭部分切除術(Transoral Videolaryngoscopic Surgery: TOVS)を開発しました。本手術は優れた治療成績、良好な咽喉頭の機能温存率を有する一方で、合併症として術後癒痕拘縮による嚙声や通過障害もあります。食道癌の内視鏡治療でも同様の合併症は起きており、その予防として創部にステロイド治療（局所注射や内服治療）が、従来行われています。そこで当科においても本手術の周術期においてステロイド治療（以下、本治療と記載します）を行っています。本治療は、当施設に限らず他施設においても行われておりますが、実際に術後の音声や嚙下までの機能解析を行った報告はみられません。そこで本研究の目的は、本施設でステロイド治療を行った方に対して、音声・嚙下機能を解析し、ステロイド治療の有用性を明らかにすることが目的であります。方法は本治療を行った方の、術前後の各種検査結果を電子カルテより解析します。項目は内視鏡検査、音声検査、嚙下機能検査所見として、これらの検査は通常の外来で行っている検査であり、本研究を遂行するために特段行う検査ではありません。研究期間は学校長承認後から平成 33 年 3 月 31 日までとします。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では電子カルテに記載された内容から検証するものであり、人体の試料を用いない、既存情報のみを用いるものであります。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。研究への利用を拒否する場合の連絡先も同様です。

研究責任者：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2 防衛医科大学校病院耳鼻咽喉科  
助教 宇野光祐 (Tel : 042-995-1686、PHS : 5122)